

省エネのプロデュース(複合ビル)

① 狙い：テナント参加による省エネ推進

約100社あるテナントが、80%のエネルギーを消費。これを対象に省エネをプロデュース。

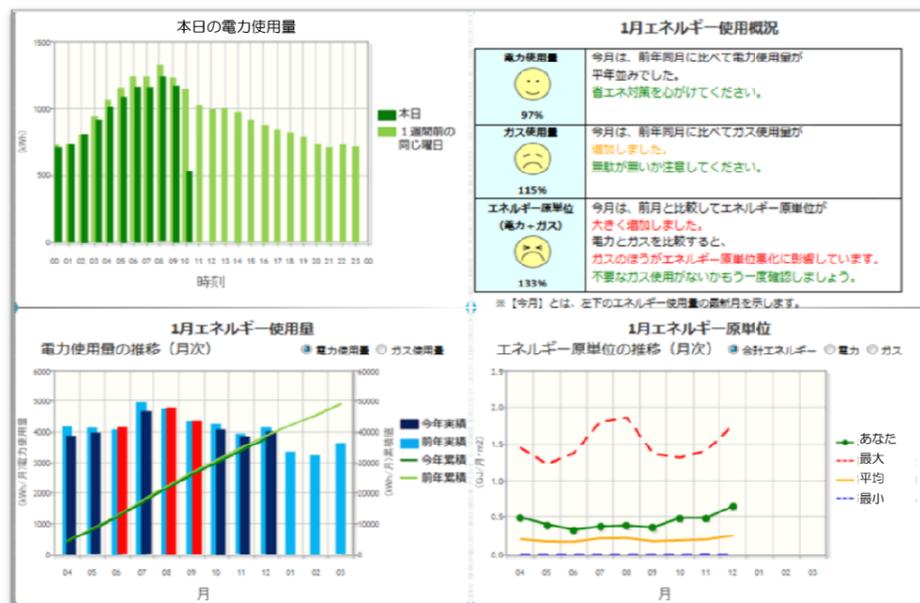
従来、エネルギー使用量に対して興味を抱いていなかったテナント各社に対し、啓発を実施。省エネ意識の向上を図る。

省エネ説明会の実施

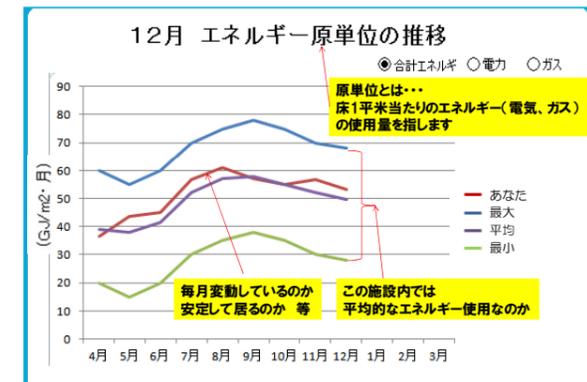
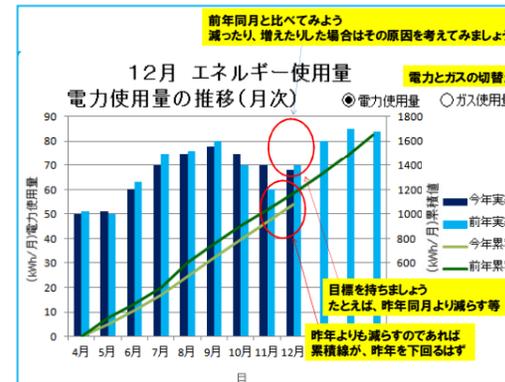
見える化システムの提供

省エネアンケートの実施

② テナント向け見える化画面のイメージ図



③ 見える化画面を活用するイメージ



エネルギー使用量の前年/当年比較が可能。
⇒増減の原因を考えるきっかけとなる。
⇒削減目標/評価が自分で出来る。

原単位(1㎡あたりのエネルギー使用量)の把握と、ビル全体や他テナントとの比較が可能。
⇒自分がエネルギーを使い過ぎていないか、自分で評価できる。

④ 意識付けから、目標設定へと進化させる

- ・テナントに省エネの意識付けが出来た。
- ・各テナントの省エネ活動の一環として、以下の活動を見える化システムで支援する目処が立った。
 - ・省エネ目標を立てる。
 - ・エネルギー使用量を把握する。
 - ・前年度実績や市場全体・他テナントとの比較評価をする。
- ・省エネ啓発を実施することができた。今後も丁寧なフォローアップを実施していく。